

「経営革新塾」

株式会社岡根谷の経営革新計画

2008. 11. 6

株式会社岡根谷

田村政信

株式会社岡根谷について



当社は1936年（昭和11年）に、富士宮の岡根谷酒造の富士支店として富士市本町14番29号の現在地にて酒類販売を中心に創業、その後、酒類・食材の卸販売に業態転換し、地域社会の人々にご愛顧されてきました。

昨今、酒類販売を巡る環境は大きく変わってきております。規制緩和を起因とする全国規模のディスカウントストアの進出による流通・販売経路の変化は当社の事業内容に大きな影響を与え、従来の酒類卸販売中心の業容では、大幅な事業の発展は望めない状況でありました。

このような中、1999年（平成11年）に開発・販売を始めた「パンの缶詰」（その後「ケーキの缶詰も発売」）は、非常食の常識を変え、昨年度においては50万缶を超える出荷実績を打ち立て、当社の主力商品になりつつあります。

1. 当社の事業内容



2. 田村政信のプロフィール



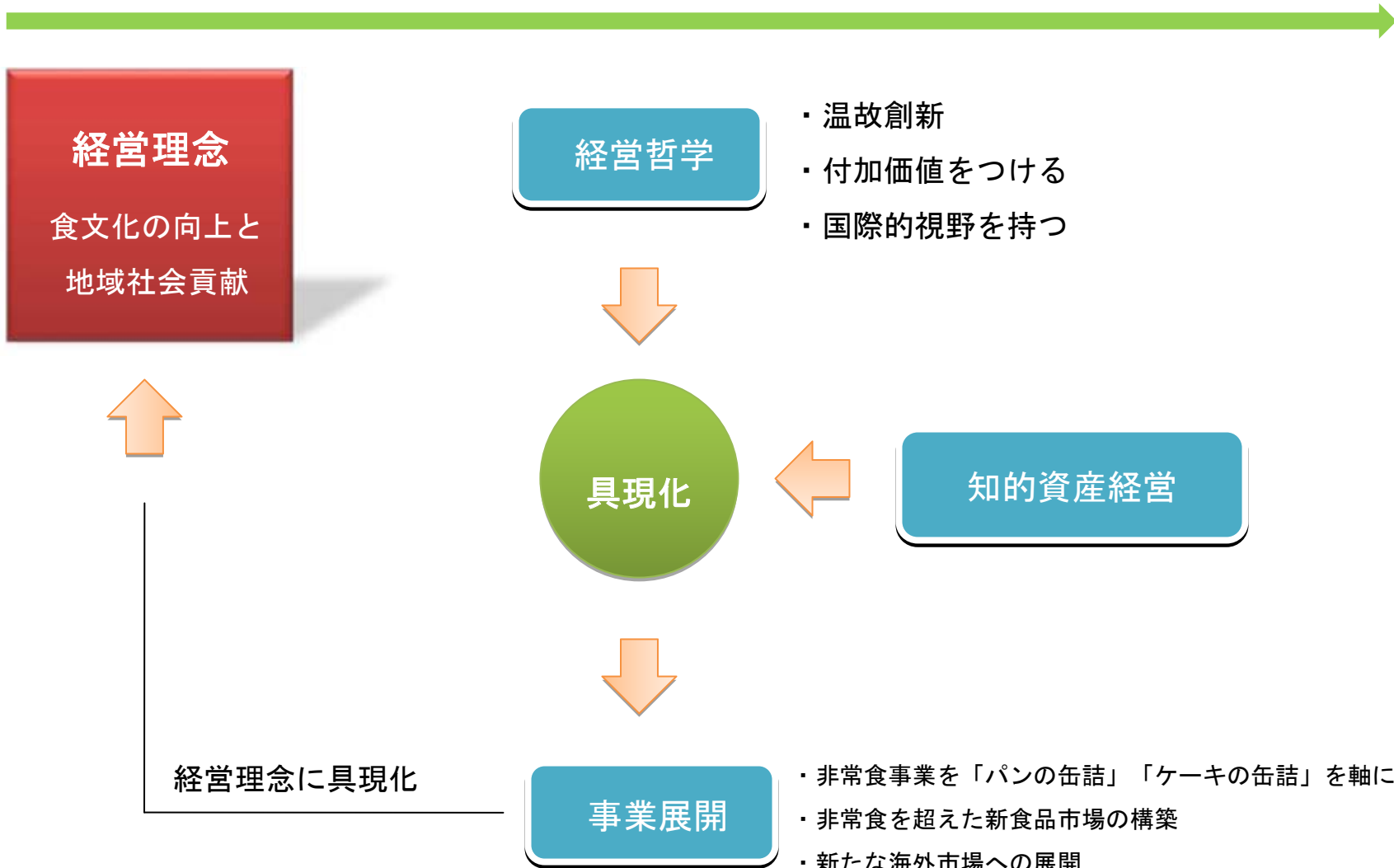
株式会社 岡根谷
代表取締役 田村政信

M. Tamura

【プロフィール】

昭和22年生まれ 昭和50年早稲田大学大学院商学研究科修士課程修了
翌年より酒類輸入・食品商社 株式会社 岡根谷専務取締役
平成8年東京経済大学大学院経営学研究科修士課程を修了
平成16年7月31日付で代表取締役社長に就任
富士フェニックス短期大学において非常勤講師として「マクロ経済学」
を教授
税理士資格を取得 税理士事務所を開業
静岡家庭裁判所所属 家事調停委員
日本租税理論学会会員、「税理士葵会」理事
防衛政策懇話会 会員
防衛庁 陸上自衛隊 東部方面隊オピニオンリーダーとなり、2期4年の任
期が終了し、そのシニア団体である防衛省 陸上自衛隊 東部方面隊 東桜
会に平成19年4月1日より所属
静岡県防衛協会常任理事及び東部支部副支部長に就任
(社) 岳南法人会理事及び税制委員会委員長

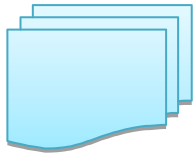
3. 経営哲学



4. 実践的な付加価値創造の方法

A.

興味を感じた記事及びテレビを集収します。



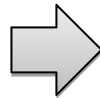
新聞・本



記事の切り抜きをします



テレビ

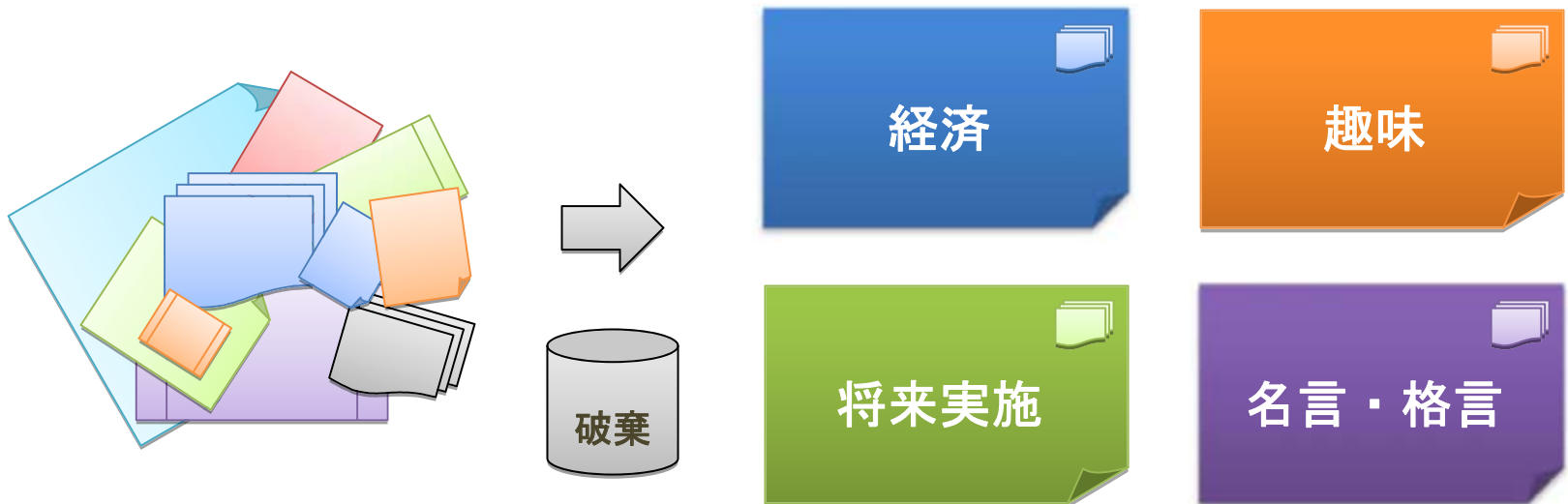


録画撮りをします

実践的な付加価値創造の方法

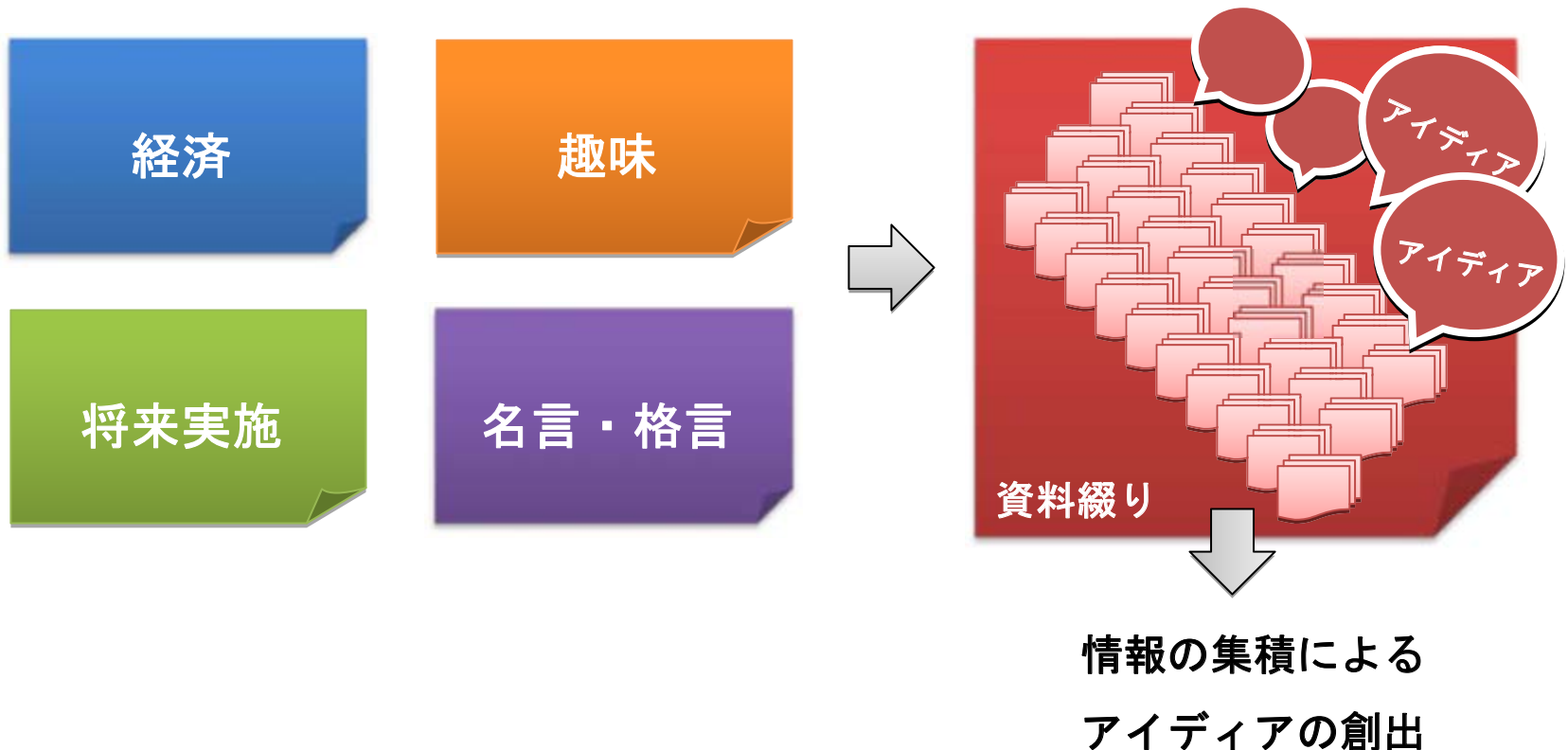
B.

1. 一ヶ月間集収し、再度記事・録画等を見ます。
2. 再度、記事・録画等を見ます。
3. 不要と思われる情報は破棄します。



実践的な付加価値創造の方法

C. 「資料綴り」に貼り付けをします。



5. 「パンの缶詰」 「ケーキの缶詰」 製造の端緒

A. ケーキの缶詰との出会い

昭和41年、大学入学の夏休みのヨーロッパ旅行に於ける、イギリスのハロツズデパートにてケーキの缶詰を見た事

B. デイリーパンの実情の話

2005年4月 TKC「戦略経営者」P48 の記事より



——パンとケーキの缶詰が新聞やテレビで紹介され注目を浴びていますね。本業は酒類の販売卸だそうですが、これを手掛けるようになったきっかけは何だったのでしょうか。

田村 私の先輩に中小パン製造会社の社長がいて、その方から「コンビニなどに卸すパンは、6割以上が売れ残って廃棄処分される」という話を聞いたんです。このとき思いつきで「ならば、保存のできる缶詰にすれば」と私が言ったんですね。この一言がきっかけとなり、そのパン製造会社とわれわれとが共同で開発をはじめたんです。

いま量販店向けのパンは大手企業の寡占化状態になってきていますが、当時からすでに中小パン製造会社は非常に厳しい経営環境にありました。一方で、当社のような酒類販売・卸業者もこの10年ほどはディスカウント店の台頭などで大変厳しい状態が続いてきています。

ですから、私がパンの缶詰を開発して中小のパン製造会社に製造を委託することができれば、共存共栄の関係を作れるのではないかと考えたのです。第1号のパンの缶詰を完成したのは1999年で、ケーキのほうは昨年9月に完成し10月から販売しています。

6. 「パンの缶詰」 「ケーキの缶詰」 販売開始と付加価値創造

平成11年11月15日 販売開始

パンの缶詰 おいも・あずき・コーヒー・プレーン

平成13年10月31日

防衛庁 本庁御用達（当時） 登録業者

平成14年11月29日

株式会社岡根谷 「パンの缶詰」 「ケーキの缶詰」 特許取得
（特許 第3375126号）

平成14年12月16日

中小企業庁経営革新支援法に基づく承認企業

（税理士・中小企業診断士及び地元銀行により承認企業となる）




「パンの缶詰」・「ケーキの缶詰」登録業者更新のための防衛省契約商議への出席



防衛省内D棟前にて

6. 「パンの缶詰」「ケーキの缶詰」販売開始と付加価値創造



経営革新承認企業のメリット

A. 政府資金を低金利で使用できます。

B. 今後中小零細企業は地元銀行のみならず政府資金の積極的な活用を行い、企業経営を継続することができます。


当社にとって中小企業支援法に基づく承認企業になった結果、上記のメリットに加え、防衛省共済組合本部（当時）の登録業者にもなれました。

即ち、当社の「パンの缶詰」「ケーキの缶詰」が防衛省共済組合本部の本部指定商品になりました。また、防衛省共済組合本部の指定商品になれた結果、民間の大手スーパー、デパート、生協等の信用度も絶大で、取引開始ができるようになりました。

平成15年3月15日より私が専務（当時）であった時、防衛庁陸上自衛隊東部方面隊オピニオンリーダーに委嘱され、この結果、全国の陸・海・空自衛隊との人的ネットワークができ、更なるパンの缶詰、ケーキの缶詰の販売が展開中です。

C. 民間企業における商品ダンピング阻止の逸話

6. 「パンの缶詰」「ケーキの缶詰」販売開始と付加価値創造



経営革新承認企業獲得の手段

「人的ネットワークの活用」

- A. 中小企業診断士、税理士及び取引銀行との連携をとりながら経営革新支援法に基づく承認企業申請をしていくことが肝要であります。
- B. 静岡県商工会連合会及び商工会議所等との話し合いを含めて話し合うことが重要と思われれます。

6. 「パンの缶詰」「ケーキの缶詰」販売開始と付加価値創造

2004. 2. 21

パンの缶詰、イラク支援の護衛艦「むらさめ」と共に...

自衛隊員が長い航海でパンを希望されていることに対し、当社専務（東部方面隊オピニオンリーダー）はパンの缶詰を慰問品として提供致しました。

オピニオンリーダーとして、『職務を完遂し、無事に帰港することができますように』という願いを込めております。

陸上自衛隊の物資をクウェートに運ぶ海上自衛隊の輸送艦「おおすみ」と護衛艦「むらさめ」は、20日午前9時前、北海道の室蘭港を出港しました。



(右)海上自衛隊 第一護衛隊群司令
海将補 高嶋博視氏
(右から2番目)護衛艦むらさめ 艦長
二等海佐 地藏謙介氏



北海道室蘭港を出港した
護衛艦「むらさめ」



護衛艦「むらさめ」横須賀港
吉倉港 出港風景



航海の安全と帰港を願い「帽振れ!!」

6. 「パンの缶詰」 「ケーキの缶詰」 販売開始と付加価値創造

2006. 3. 12



当社「ケーキの缶詰」1月23日にイラク
サマーワ駐屯地に向かって出荷へ
～その後の経緯について～

衛星TV電話（イラク サマーワ駐屯地より～朝霞駐屯地間）によるイラク、サマーワ駐屯地内から
「ケーキの缶詰」について連絡が入る。



現地より送られた衛星TVによる映像。
ケーキの缶詰を食べている様子。



イラクサマーワ駐屯地の写真 その1
陸上自衛隊 東部方面総監部 広報室より



イラクサマーワ駐屯地の写真 その2
陸上自衛隊 東部方面総監部 広報室より

自社製品

民間取引先

富士山ラベル



国会議事堂



富士山登頂記念ラベル



タミヤ



ボランティアラベル



自社製品

自衛隊バージョン

防衛省ラベル



江田島ラベル



駐屯地及び基地ラベル



防衛大学校ラベル



大和ミュージアムラベル

自社製品

プレミア 自衛隊バージョン

祝防衛省ラベル



2006自衛隊観鑑式ラベル・2007自衛隊観閲式ラベル・2008航空観閲式ラベル



7. 今後の課題



- A. 残された全国の陸・海・空の駐屯地及び基地に対するPXの更なる販売の拡大

- B. 新製品開発及び新販路の構築により、例えば民間の防災、自治会及び海外派遣による自衛隊を中心に、再度、中小企業庁経営革新支援法に基づく承認企業の獲得を目指す

8. 私自身の“innovation”



～ 五訓 ～

1. 怒らない
2. 愚痴を言わない
3. 過去を頼らない
4. 望みを未来に置く
5. 人のために善を為す

高
志
低
頭